

平成 19 年 11 月 16 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

西豪州沖合ラベンスワース油田の開発移行について

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社は、今般、子会社アルファ石油株式会社を通じて権益を保有しているオーストラリア北西大陸棚 WA-155-P (Part 1) 鉱区において発見されたラベンスワース油田の開発を決定いたしましたので、お知らせいたします。

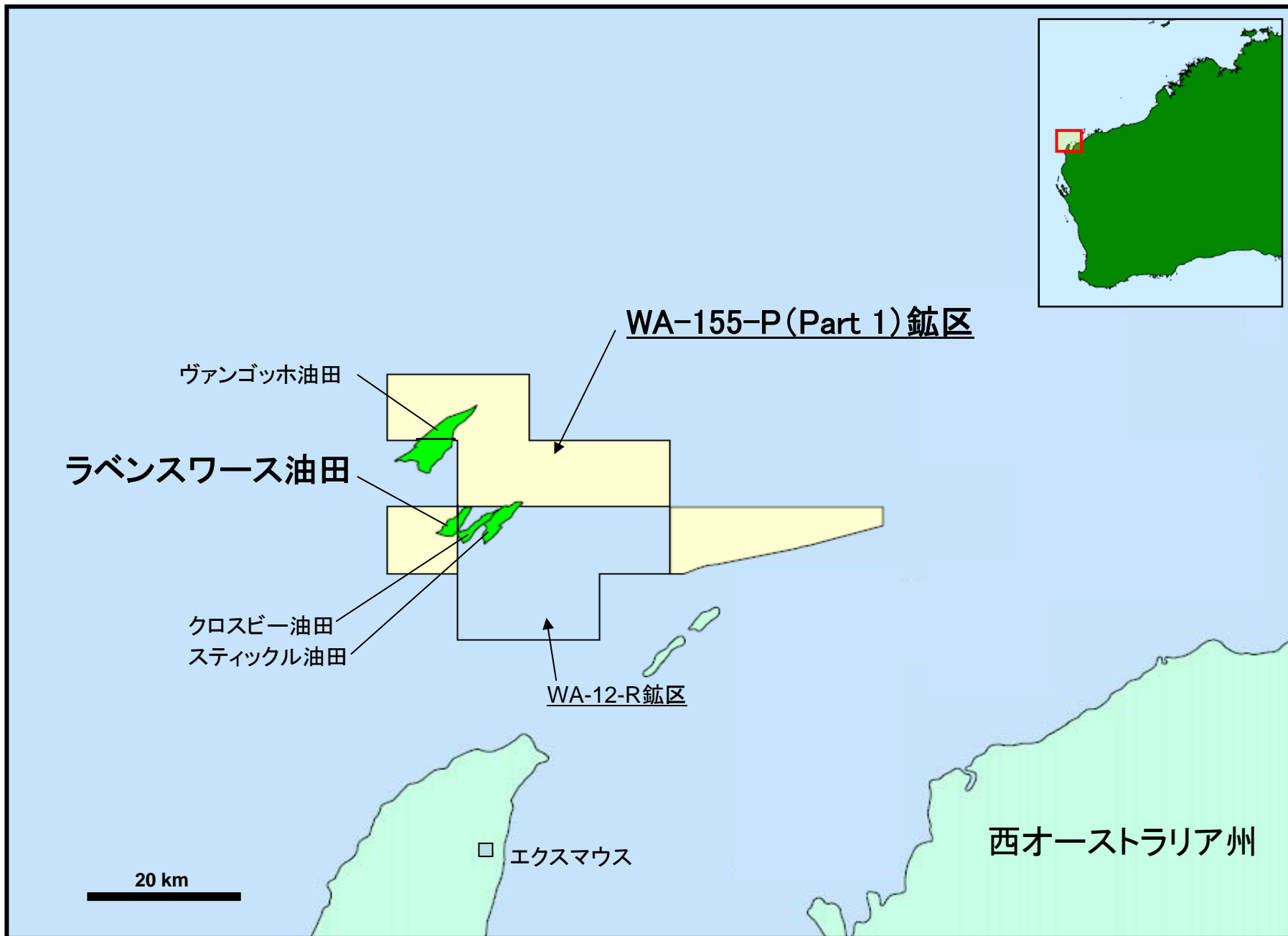
今回開発を決定したラベンスワース油田は、オーストラリア北西大陸棚の水深 215m、離岸距離 35km の海域に位置します。同油田は、2003 年に掘削された試掘井 Ravensworth-1 にて発見され、その後、開発に向けた検討作業が実施されてきました。

WA-155-P (Part 1) 鉱区とその東側に隣接する WA-12-R 鉱区に跨って位置するラベンスワース油田は、WA-12-R 鉱区のクロスビー油田及びスティックル油田とともに、ピレニー総合開発の一環として、開発作業が進められ、2010 年後半の生産開始を予定しております。また、同油田の生産期間は 25 年と見込まれています。

WA-155-P (Part 1) 鉱区は、アルファ石油株が 28.5%の権益を保有するほか、BHP Billiton 社 (オペレーター)が 39.999%、Apache 社が 31.501%の権益を保有しています。

当社グループは、オーストラリア連邦では、インペックス西豪州ブラウズ石油株が、オペレーターとして、イクシスガス・コンデンセート田の開発を、世界的規模の LNG (含む LPG 及びコンデンセート) プロジェクトとして推進しているほか、アルファ石油株を通じて、グリフィン油田の生産事業及びヴァンゴッホ油田の開発事業にも参画しております。このほか、保有している探鉱鉱区での事業の推進を含め、今後ともオーストラリア連邦における当社グループの事業展開に積極的取り組んでまいります。

以上



ラベンスワース油田 位置図